

金原地区土地改良事業に係る井戸調査業務委託

特記仕様書

令和 7 年 9 月

相模原市 環境経済局 経済部 農政課

第1条 適用範囲

この特記仕様書は相模原市が令和7年度に実施する金原地区土地改良事業に係る井戸調査業務委託に適用する。

第2条 業務目的

本業務は金原地区で水理地質調査を行い、対象地の地下水賦存の可能性を検討し、テストボーリング位置の選定および掘削仕様の提案することを目的とする。

第3条 業務内容

業務内容は既存資料収集・検討、地形判読・地質踏査、電気探査および総合解析からなる。

第4条 既存資料調査

対象地域の地形、地質、井戸などの既存資料を収集、検討する。

第5条 地形判読・地質踏査

空中写真、地形図から地形、地質状況を判読する。地質踏査を行い、地層の分布や性状など、水理地質状況の基礎情報を得る。これらの情報を加えて既存の地質図を編集し、対象地区の水理地質図を作製する。調査範囲は事業予定区域を中心とした5km²程度とする。

第6条 電気探査

事業予定区域の水理地質構造を把握するため、電気探査（比抵抗二次元探査）を行う。5測線、延べ1.3km程度を実施する。測線位置は事業予定区域で地形、地下水、ノイズ源等を考慮し適切な位置を選定する。各測線の電極配置は2極法配置とし、探査深度は100m、電極間隔は5mを原則とする。使用する測定機器は、探査深度に対し十分な能力を有するものを使用する。

現地調査前に遠電極設置のための用地への立ち入り許可および電線敷設経路の道路占用許可を得ておく。感電事故防止のため、遠電極には看板による注意喚起、人目のつかない所に設置するなど工夫を行う。

第7条 総合解析

以上の調査結果を相互に関連づけて、対象地区の水理地質構造を総合的に検討・解析する。地下水の賦存の可能性について評価を行い、テストボーリングの位置・掘削深度・ケーシングプログラムなど、掘削仕様を提案する。

第8条 報告書作成

報告書の構成は下記とし、巻末に電気探査データ及び調査写真を添付する。報告書はA4判とし、2部提出する。

- (1) 調査概要
- (2) 調査方法
- (3) 地質踏査結果
- (4) 電気探査結果
- (5) 総合検討
- (6) テストボーリング計画

第9条 打合せ

受託者は業務着手時及び報告書原稿完成時に委託者と業務内容について打合せを行う。

以上